

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 3 月 6 日作成)

小委員会名	プロジェクトマネジメント小委員会	主 査 名：平野 吉信 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：眞嶋 二郎
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築生産におけるプロジェクトマネジメント(P M)の役割の普及と発展 ・ 重要テーマは以下の 3 点 <ul style="list-style-type: none"> 発注者の視点を踏まえた P M の効用の理解普及 多様な生産・調達方式と P M のあり方(例えば、P F I 等) P M 業務プロセスの計画手法(例えば、品質・適合性管理マネジメント) <p>各年度活動計画</p> <p>2005 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「効用」「計画手法」「多様なプロジェクト形態における PM」について WG の設置に向けた検討。 ・ 「発注者にとっての効用」に焦点をあてたワークショップの開催。 <p>2006 年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「効用」「計画手法」「多様なプロジェクト形態における PM」に関する WG を設置し、関連情報の収集と検討を推進。 ・ 特定テーマを設定したワークショップ開催し、実務者・関係者と情報・意見等の交流を図る。 	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：平野吉信(国土交通省 国土技術政策総合研究所)</p> <p>幹事：齋藤 隆司(日本郵政公社) 西野加奈子(建築・住宅国際機構)</p> <p>委員：安藤正雄(千葉大学) 和泉淳弘(元日本設計) 市川浩司(竹中工務店) 小栗新(Arup Japan) 金山裕介(新日本製鉄) 金多隆(京都大学) 楠山登喜雄(フタバエンジニアリング) 杉本善二郎(シティハウスインダストリィ) 肥田景明(日本設計) 古阪秀三(京都大学) 山崎雄介(清水建設) 吉田敏明(三菱地所設計)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>名称：海外情報 WG</p> <p>目的：海外の PM 業務事例や各種研究に関し、情報収集・分析を行う。</p>	
2005 年度予算	70,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.aij.or.jp/keizai/pm/</p>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし

講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第7回 PM ワークショップ: 「プロジェクト主」(or「発注者」)は、PM 機能に何を期待するか? (2006. 1/25<水>、建築学会会議室) 参加者数 30 名 資料: 『「プロジェクト主」(or「発注者」)は、PM 機能に何を期待するか?』
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「効用」「計画手法」「多様なプロジェクト形態における PM」について WG の設置に向け、小委員会で活発な議論がなされた。 2. 発注者に視点をあいた、ワークショップを開催した。 3. 海外情報 WG から、CIB (建築研究国際協議会)での研究状況などの報告があり、日本での今後の研究の参考になった。
委員会活動の問題点・課題	1. 11月に発覚した耐震強度偽装問題に関して、発注者責任という観点がますます重要になってきており、プロジェクトにおける責任分担等についても議論する必要がでている。 2. 多様な発注者(年間数多く発注する者と生涯に一度という発注者など)がいるため、さまざまな観点からプロジェクトマネジメントを検討する必要がでている。
その他の活動状況・研究成果	建築雑誌 200602号において、発注者(クライアントという用語を用いている)に関して、特集が生まれ、小委員会メンバーが企画、執筆に携わった。